

---

# 原色ではない色に

快丈風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

原色ではない色に

### 【Nコード】

N4195A

### 【作者名】

快丈風

### 【あらすじ】

私が日頃考えてることを詩にしました。

私が無くしちゃったモノ。

それは個性。

髪をストレートにして、

流行りの服を着て、

化粧をし、

皆のしているドラマを見て、

当たり前のように携帯電話を持ち、

目立たず、

暗すぎず、

適度に頷き、

笑顔をしてみせ、

友達について歩く。

やってみたいと思っても、

友達がしなければ出来なくなり、

友達が嫌な事は、

自分が好きでもやらない。

そして、ふと、

自分の事が分からなくなる。

確かに、

一人だけ違うのは、

怖いし、

恥ずかしいし、

目立つし、

大変だ。

それよりは皆と同じなら、

楽し、

平気だし、

怖くない。

でも……本当にそうだろうか？

皆が同じ格好をして、

同じ態度を取り、

同じ考えをするなら、

この地球上に、

なぜ60億もの人たちが必要なのだろうか？

一人でいいのではないか？

でもなぜか、

私たちは気づいたらココに居た。

考えてみれば理不尽な話だが、

今、この世に存在しているなら、

仕方ない。

とりあえず生きてみる。

沢山のモノに対して、

一人はあまりに無力で、

ちっぽけで、

弱々しい。

そんな世の中だから、

人のマネをするのも、

流されてしまうのも、

しょうがないって思う。

だったら、

私だったら、

流されながらも、

自分を少し、

ほんの少し、

皆が分からないくらい少し、

主張できたらと思う。

皆初めは、

眩しいくらいの白さを持っているとして、

成長するにつれて、

色々な色に染まっていく。

その時例えば、

沢山の人が、

チューブから出した、

原色の青になりたいと、

自分の色を青に近づけ、

中には完全に染まり、

私もそれに巻き込まれたとしても、

原色ではなく、

それに少し水を加え薄くしたり、

ちょっとだけ、

黄色を足してみたりして、

よく見比べなければ分からない様な、

でも原色でない青になりたい。

私が無くしちゃったモノ、

それは私。

真っ白な所に色を塗ろうとしていた、

あの頃の私。

私が手にいれたモノ、

それは、

周りと同じ様で違う自分になりたいと、

気づいた私。

そう気づけた心。





（後書き）

初めて詩を書きました。改行が多かった気もしますが、雰囲気を出す為に今回はこの形にしました。もし、私と同じ考えを持っている方に共感して頂ければ幸いです。ここまで読んで下さりありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4195a/>

---

原色ではない色に

2010年10月28日04時26分発行